

平成30年度 学校だより



潮 鳴 り

平成30年5月16日(水)
御前崎市立第一小学校
学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No.2
E-mail:
onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

第一小に『いい空気』が広がっています

風薫る季節になりました。素晴らしいスタートをした平成30年度の第一小は、6年生を中心に全校児童が一堂に会し、体育館中があたたかな雰囲気にもまれた『1年生を迎える会』に続き、晴天に恵まれた5月1日(火)の『友だちづくり遠足』を行い、「なかよしの花」が少しずつ咲き始めています。花いっぱいの第一小学校にするために一番大切なことは、「いい空気を流すこと」です。これは、始業式や入学式、PTA総会でもお話しさせていただきました。この「いい空気」がさらに「いい空気」となり始めています。「いい空気」をつくり出す人に出会ったとき、私はうれしくてたまらなくなります。今回は、校長が見つけたその一部を紹介します。御家庭の話題にしていただければ幸いです。



☆『1年生を迎える会』での出来事です。6年生と運営委員会の子どもたちは、何日も前から準備をしてきました。会場準備やリハーサル等、一人一人が自分にできることを頑張ってくれました。1年生のために、第一小のために頑張る姿は、まさに最高学年のリーダーの姿です。1年生の笑顔とそれぞれの学年が頑張ってくれた発表を笑顔で見守る6年生に頼もしさを感じました。下級生の感謝の拍手に少し照れながら見せた笑顔もすてきでした。6年生、ありがとう！

☆友だちづくり遠足のことでした。校長の私は、全学年の目的地に車で向かいました。水のめぐみ公園でお弁当を食べていた4年生は、私の車が駐車場に入ってくるのを見ると、みんな一斉に「校長先生どこですか」(1年生を迎える会の時の先生紹介の時の呼びかけをまねて)と声をかけて、校長の登場を迎えてくれました。『welcome』のあたたかな空気が学年全体に流れていました。4年生、ありがとう！

☆家庭訪問週間は、一斉下校でした。校門で下校指導をしていると、高学年の子どもたちが低学年が来るのを待っていてくれます。兄弟姉妹にかかわらず、一緒に帰ろうとしてくれていました。中には、仲良く手をつないだり、並ばせてくれたりしている高学年もいました。全国では下校途中の悲しい事故が続いています。「みんなで一緒に帰ろう」という言葉かけに感謝したいです。ありがとう。

☆始業前の1年生の教室や、すかのガーデンでは1年生と6年生の楽しそうな声が響きます。「ねえ、見て見て。朝顔の芽が出たよ」とうれしそうに植木鉢を見せる1年生に、「よかったじゃん」と笑顔で答える6年生。6年生に縄跳びを褒めてもらっている1年生の張り切り度も急上昇。みんなの一日が笑顔で始められます。ありがとう。

☆5月10日のスクラムグットマナーの日。村田PTA会長も一緒にあいさつ運動に参加してくださいました。もちろんあいさつ委員会や6年生や職員も、登校してくる子どもたちにあいさつシャワーを浴びせています。あいさつが山びこのように響き合い、いい空気が流れるすてきな時間でした。みなさん、ありがとう！

☆5年生廊下の掲示より 「春は、新学期がよい。かわいい1年生を高学年が連れて行く。また高学年としての一歩が始まる。」 5年1組 鈴木瑞葉さん

